

学びの広場

現代的な課題に取り組んだ 「町民大学」

今年度から、「夢広場・まつだ」を従来の「町民大学」として実施いたしました。「楽しく学ぶ」ことを中心にした「夢広場・まつだ」に対し、町民の皆さんに関わりのある切実な課題や、町や県が直面している現代的な課題を中心にプログラムを組み直したからです。今年度は5回(4回目は人権教育研修会と兼ねて実施)の講座でしたが、いずれも興味や関心をもった方々が多数参加され、講師の先生に専門的な質問を出すこともありました。

【問合せ】教育課生涯学習係
☎(83)7023



第1回
「これまでの100年、
これからの松田」
講師：島村俊介町長



第3回
「太陽光発電と
その助成」
講師：NPO法人太陽光発電所
ネットワーク神奈川地
域交流会代表
横谷公雄さん



第2回
「相続を争続に
させないために」
講師：県司法書士会常任理事
上村政行さん



第5回
「山崎優の世界」
講師：文部科学大臣賞受賞者
山崎優さん



第4回
「心の旅路」
講師：アイリッシュユアープ奏者
永山友美子さん

第3回小学生スポーツ教室

昨年12月5日(土)に町体育指導委員会主催の小学生スポーツ教室(バスケットボール)を開催しました。この教室は毎回、身近なスポーツ体験から小学生、中学生、地域住民などの交流を図り、地域スポーツのさらなる発展を期待して実施しています。



今回は、新型インフルエンザの影響で松田、寄小学校1～6年生で8名の参加と少なかったものの、町内のバスケットボールチーム「松田ミニファイブ」と松田中学校女子バスケットボール部OGのご協力で、総勢42名でスポーツ教室を行いました。

教室では、最新のスポーツ学を実践するため、2つの目的がありました。一つ目に、子どもたちは通う学校や学年もさまざまのため、ほかの参加者と講師(体育指導委員)が打ち解けられるようにコミュニケーション(アイスブレイク)を充分に実施しました。このことは、子供達の緊張をほぐし、耳を傾けることで結果的に集中力を高める効果に働きかけました。二つ目に、子どもたちの総合的な運動能力を高めるために、さまざまな競技や遊びなどを取り入れた練習方法の一例を紹介しました。身体、脳、神経系統のバランスを調整するトレーニング(コーディネーショントレーニング)などを指導者が実践できるように図りました。

子どもたちは、スポーツを教わるための教室というよりも講師との楽しい遊びという雰囲気の中で、初めてのバスケットボールに夢中で玉を拾い、声援を送りました。このことは、スポーツを通じて集中力や協調性が高められた成果と感じられました。



体育指導委員会は「近年、親子でキャッチボールなどのスポーツをする光景が少なくなっている」と感じています。次回は、家族間のスポーツを通じたコミュニケーションを目的とした「親子で参加するスポーツ教室」を開催する予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

【問合せ】教育課生涯学習係
☎(83)7023



昭和49年に、松田イレブンスサッカークラブは発足。その数年前、

団塊さん、いらっしやい③「松田イレブンス」

松田小学校は木造二階建てで三棟あった旧校舎の運動場に、新校舎現在の校舎の建設工事が始まりました。小学生は使用できなくなった運動場の代わりに仮設運動場(現座の酒匂川町民親水広場)を利用。休み時間や放課後になると仲間同士で仮設へ行つてサッカーをやるようになり、そんな折に、先生や父母の方々のご尽力で小学生のための松田イレブンスがスタートしました。

現在、7名の指導者で33名の小学生を低・中・高の3グループに分け、子どもたちの健康を第一に指導。活動は、毎週土・日曜日、午前9時から正午まで酒匂川町民親水広場で行っています。ほかに、松田イレブンス招待大会を年に数回、上郡リーグ戦や県大会などの公式戦に参加、夏には毎年、時之栖スポーツセンター(サッカー)日本代表が合宿するほど充実した施設で集中合宿を実施しています。また、松田町内の行事(スポーツレクリエーション、ロードレース大会、ハーフマラソン)のイルミネーション取り付けなどにも積極的に参加しています。

昭和20、30年代に現在のサッカーの基礎をつくった団塊の世代の皆さん、お孫さんと一緒に将来のJリーガーを育ててみませんか。「仮設」の愛称で親しまれた現在の酒匂川町民親水広場に足を運んで、昔を懐かしんでください。ゴールネットを揺らした感覚がよみがえってくると思います。